

1 第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定について

(1) 背景

平成 25 年 6 月 14 日に閣議決定された「日本再興戦略」において、“国民の健康寿命の延伸”を重要な柱として掲げ、これに係る問題点として「個人に対する動機付けの方策を十分に講じていない」ことが指摘されている。この問題を解決するため、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「計画」の作成、公表、事業実施、評価等を求めるとともに、市町村国保が同様の取組みを行うことを推進する」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされた。

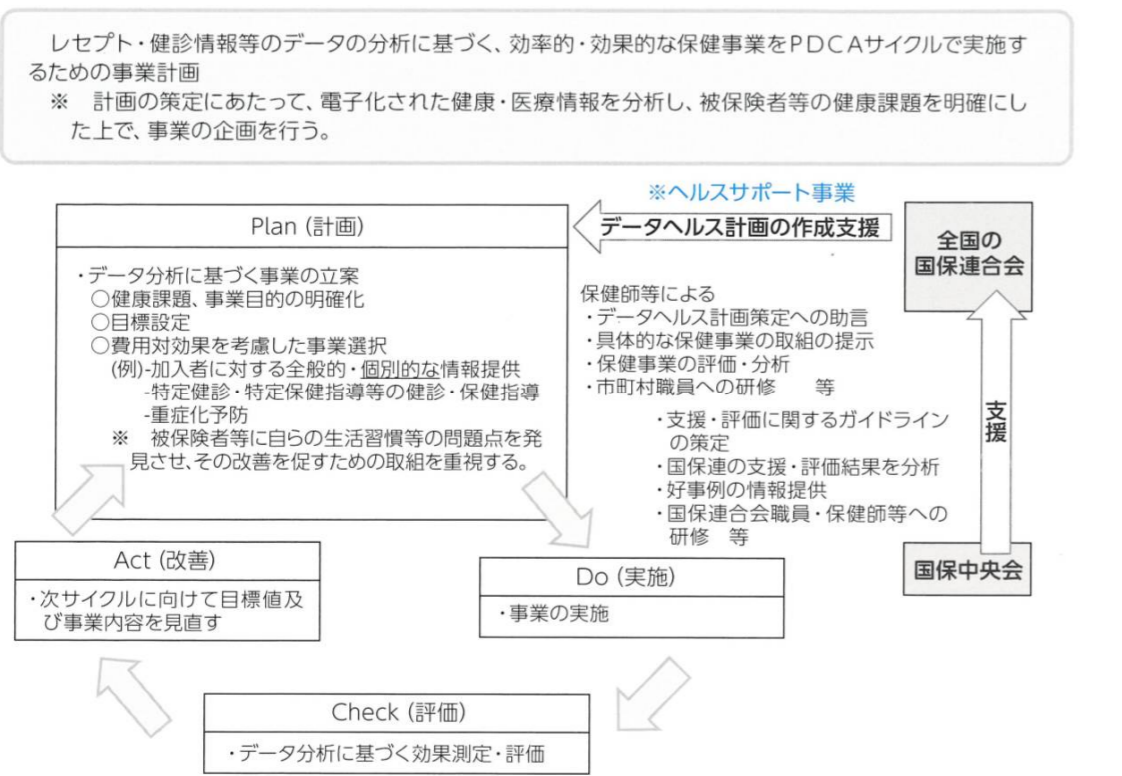
(2) 目的

被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健診の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用し、PDCA サイクルに沿って運用する。

(3) 位置づけ

データヘルス計画は、健康増進法に基づく基本的な方針を踏まえるとともに、「第五次鹿児島市総合計画」、「鹿児島市国民健康保険財政健全化計画」、「第二次鹿児島市健康増進計画（かごしま市民すこやかプラン）」、「第 7 期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画」等の計画との整合性を図るものとする。

《データヘルス計画の概要》



※「国民健康保険制度改革の解説～平成 30 年度からの都道府県主体による財政運営に向けて～」から

2 第一期実施計画目標に対する評価

第一期実施計画（計画期間：平成 27 年度～29 年度）					
目標		H26 年度 (計画前年度)	H28 年度	評価	
中長期目標	・一人当たりの医療費の減少	28,789 円	30,495 円	増加	
	・一人当たりの医療費の伸び率の減少 (前年度比)	3.8%	0.1%	抑制	
	・血管疾患 (脳・心・腎) の発症の減少 (新規患者数 (千人対))	脳血管疾患	4.92 人	5.30 人	増加
		虚血性疾患	6.69 人	5.74 人	減少
糖尿病性腎症		1.49 人	1.62 人	増加	
短期目標	・特定健診検査値の変化 (有所見者の割合)	中性脂肪 150 以上	18.0%	17.9%	減少
		収縮期血圧 130 以上	50.0%	46.0%	減少
		空腹時血糖 100 以上	37.6%	39.1%	増加
		尿蛋白 1+以上	5.6%	6.4%	増加
	・受診勧奨域にある者のうち受療行動を開始した者の割合の変化 (受診勧奨者医療機関受診率)	53.7%	52.1%	減少	
・特定健診未受診者の減少 (特定健診受診率)	31.0%	30.8%	減少		

※KDBシステムより算出

※ は改善されなかった目標

3 第一期実施計画・第二期実施計画との比較及び変更点

	第一期実施計画	第二期実施計画
期間	○平成 27 年度～29 年度 (3 年一期)	○平成 30 年度～35 年度 (6 年一期)
目標	【文言での設定】 ○中長期な目標 ・一人当たりの医療費の減少 ・血管疾患 (脳・心・腎) の発症の減少 ○短期的な目標 ・特定健診検査値の変化 ・受診勧奨域にある者のうち、受療行動を開始した者の割合の変化 ・特定健診未受診者の減少	【具体的な数値目標での設定】 ○中長期な目標 ・一人当たりの医療費の伸びの抑制 ・脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の新規患者数の減少及び総医療費に占める割合の減少 ○短期的な目標 ・高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の減少
取組事項	○重症化予防の取組 ・糖尿病性腎症重症化予防 ・高血圧重症化予防 ・慢性腎臓病重症化予防 ○子どもの生活習慣病に係る取組	○特定健診・特定保健指導の実施 ○重症化予防に係る保健指導の実施 ・糖尿病性腎症重症化予防 ・虚血性心疾患重症化予防 ・脳血管疾患重症化予防 ○ポピュレーションアプローチの取組 ○地域包括ケアに係る取組